

焼津市新病院に係る運営計画等支援業務委託仕様書

1 委託業務名

焼津市新病院に係る運営計画等支援業務委託

2 業務の目的

本業務は、平成 29 年度に策定した焼津市新病院建設基本計画を基に進められる新病院に係る運営計画策定等の支援業務を委託するものである。

3 委託期間

契約締結日から令和 3 年 3 月 22 日（月）まで（基本設計業務の履行期限に同じ）

4 業務の内容

ア 基本運営計画の策定支援

- （ア）基本設計の前提となる各種基本運用の検討・策定
- （イ）基本運用フロー図の作成（患者・職員動線、物流動線、情報の流れ）
- （ウ）検討課題の抽出と課題解決のための運用提案

イ 医療機器等整備計画の策定支援

- （ア）機器マスタリスト原案の作成
- （イ）機器整備概算費用の積算
- （ウ）機器レイアウトの確認・検討
- （エ）機器設備レイアウトの作成
- （オ）現病院での機器調達

ウ 物流計画の策定支援

- （ア）設計に関わる物流動線の検討
- （イ）機械搬送設備の検討

エ 基本設計への助言

- （ア）部門配置計画に関する助言
- （イ）諸室レイアウトに関する助言（医療機器、物流搬送動線、病院機能評価等の視点による調整）

オ その他

- （ア）各会議体への出席・助言
- （イ）業務実施計画書の作成及び報告
- （ウ）業務完了報告書の作成及び報告
- （エ）上記業務に関する資料及び議事録の作成及び報告

5 業務の実施条件等

- (1) 業務の遂行にあたっては、当院担当者と十分な連絡を保ち、処理方針については、当院担当者の指示および承諾を受けるものとする。
- (2) 業務の遂行にあたっては、関係法令および適用基準等を遵守しなければならない。
- (3) 業務の遂行には、医療行政、病院建設および運営に関し、高度な情報収集力、分析力を要するため、受託者は相当な知識と技術を有するスタッフを適切に配置し、本業務期間中、良質かつ安定的な支援を継続的に提供しなければならない。
- (4) 受託者は、常に発注者の支援者としての立場に立ち、発注者の利益を守ることを最大の任務と捉えて本業務を実施するとともに、業務期間中、発注者との高い信頼関係、および、倫理性の保持を徹底しなければならない。
- (5) 業務を適正かつ円滑に実施するため、受託者と発注者は随時、打合せを行い、業務方針の確認、条件等の疑義を正すものとし、その内容については受託者がその都度記録のうえ、議事録として提出すること。
- (6) 受託者は、焼津市の保健・医療・福祉全般についての十分な理解のもとに業務を遂行しなければならない。
- (7) 当院は、受託者に対して情報の提供等、業務の円滑な遂行に協力するものとする。
- (8) 受託者は、当院に対して定期的に業務の進捗状況を報告するものとする。
- (9) 本業務の遂行によって生じる権利は、当院に帰属するものとする。
- (10) 受託者は、業務により知り得た事項について、秘密を守り、他に漏らしてはならない。また、契約終了後においても同様とする。
- (11) 本業務を第三者へ再委託することは認められない。

6 成果品

本業務の成果品は、次のとおりとする。印刷物の書式、成果品の提出方法等については、当院と協議の上、決定する。

- (1) 本業務において作成した資料等
- (2) 上記の原稿、データ等を収録した記憶媒体（CD-ROM等）

7 工程表等の提出

- (1) 受託者は、契約締結交渉の際、次の書類を提出し、当院の承諾を受けるものとする。
 - ア 工程表
 - イ 担当スタッフ一覧表
 - ウ その他、当院が必要に応じて指定する書類
- (2) 受託者は、上記（1）に定める書類の記載内容に変更が生じた場合には、速やかに当院に文書で報告し、承諾を受けなければならない。ただし、イについては、プロポーザル時における記載内容を下回ることはできない。

8 検査

- (1) 本仕様書に指定された成果品一式を納品し、当院の検査の合格をもって業務の完了とする。
- (2) 成果品に瑕疵があることが判明した場合、受託者は直ちに訂正、補足、その他必要な措置をとらなければならない。業務が完了し、引渡し後であっても同様とする。
- (3) 訂正等の措置に係る費用は、受託者の負担とする。

9 その他

- (1) 本仕様書に定める事項について疑義が生じた場合および受託業務の細目については、当院と受託者で協議のうえ決定するものとする。
- (2) 本業務について必要な資料については、当院と調整した上で収集するものとする。なお、受託者は収集した資料を毀損または滅失しないよう丁寧に扱い、本業務の委託期間終了までに返却しなければならない。